

## R1 課題・小学生4年生の部

### 課題アナウンス原稿

今日は校庭の芝生のお話をします。私たちの学校の校庭の土は大変固いため芝生が根づくにはいくつかの工夫が必要です。まず土を20センチほど掘り返してやわらかい土を入れます。そこに砂と肥料を加えてから芝をかぶせます。また芝が根づくまでは毎日欠かさず水やりをします。こうしてきれいな芝生ができあがるのです。

続いて今日の一冊のコーナーです。今日はイギリスのクリスマス・ストーリーをお届けします。チャールズ・ディケンズ作「クリスマス・キャロル」。

### 小学4年生課題朗読文

①「あなたが、わしのところに来ると予告されていた精霊さまですか」

「そうだよ！」

その声は穏やかで優しい声でした。不思議なことに、彼のすぐそばにいるというよりも、遠くで話しているかのような低い声でした。

「お名前はなんとおっしゃいますか」

「過去のクリスマスの精霊だよ」

「遠い昔の過去ですか」スクルージは、精霊の小人のような背丈を注意深く観察しながら尋ねました。

「ちがうよ。君の過去だよ」(59 ページ)

②スクルージは立ち上がりました。しかし、精霊が窓の方に行くのを見て、彼は精霊の衣服を握りしめ、やめてくださいと懇願しました。

「わしは人間だ」スクルージは抗議しました。「落ちちゃう！」

「僕の手がそこに触れていれば」精霊は自分の手をスクルージの胸のうえに置いて言いました。「落ちる心配はないよ！」

精霊がそう言うと同時に、2人は壁を通り抜け、次の瞬間には牧草地が両側に広がる田舎道に立っていました。(62 ページ)

※課題朗読文の引用については、翻訳者である井原慶一郎氏（鹿児島大学教授）の許可を得ております。

(1) 課題アナウンス原稿をアナウンスした後、続けて課題朗読作品を朗読して下さい。

(2) 課題アナウンス原稿には読点をつけてありません。自分の工夫で切って下さい。

(3) 課題朗読文は、学年毎に違います。

小学4年生は ①②から、一つだけ選んでください。

課題朗読文の番号を読む必要はありません。

## R1 課題・小学生5年生の部

### 課題アナウンス原稿

今日は校庭の芝生のお話をします。私たちの学校の校庭の土は大変固いため芝生が根づくにはいくつかの工夫が必要です。まず土を20センチほど掘り返してやわらかい土を入れます。そこに砂と肥料を加えてから芝をかぶせます。また芝が根づくまでは毎日欠かさず水やりをします。こうしてきれいな芝生ができあがるのです。

続いて今日の一冊のコーナーです。今日はイギリスのクリスマス・ストーリーをお届けします。チャールズ・ディケンズ作「クリスマス・キャロル」。

### 小学5年生課題朗読文

③

盲導犬さえもがスクルージのことを知っているようでした。スクルージがやってくるのを見ると、彼らは飼い主を玄関口や路地まで引っ張っていきました。そして、まるでこう言っているかのようにしっぽを振ったのです。「あなたがあんなに暗く濁った目を持っていなくてよかったと心から思いますよ、ご主人さま！」

しかし、スクルージはそんなことはまったく気にしていませんでした。まさに、それこそがスクルージが望んでいたことだったからです。(11～12ページ)

④

スクルージの甥は、冷たい霧と霜の中を小走りでやってきたので、体全体がほてっていました。魅力的な頬には赤みがさし、目は輝いていました。そして、再び白い息を吐き出してこう言いました。

「クリスマスがばかばかしいですって、おじさん！本気で言ってるんじゃないでしょうね」

「本気だ」スクルージが言いました。「クリスマスおめでとうだって！お前は何の権利があって、どういう理由でおめでたくなれるんだ。貧乏人のくせに」(15ページ)

※課題朗読文の引用については、翻訳者である井原慶一郎氏（鹿児島大学教授）の許可を得ております。

(1) 課題アナウンス原稿をアナウンスした後、続けて課題朗読作品を朗読して下さい。

(2) 課題アナウンス原稿には読点をつけてありません。自分の工夫で切って下さい。

(3) 課題朗読文は、学年毎に違います。

小学5年生は ③④から、一つだけ選んでください。

課題朗読文の番号を読む必要はありません。

## R1 課題・小学生6年生の部

### 課題アナウンス原稿

今日は校庭の芝生のお話をします。私たちの学校の校庭の土は大変固いため芝生が根づくにはいくつかの工夫が必要です。まず土を20センチほど掘り返してやわらかい土を入れます。そこに砂と肥料を加えてから芝をかぶせます。また芝が根づくまでは毎日欠かさず水やりをします。こうしてきれいな芝生ができあがるのです。

続いて今日の一冊のコーナーです。今日はイギリスのクリスマス・ストーリーをお届けします。チャールズ・ディケンズ作「クリスマス・キャロル」。

### 小学6年生課題朗読文

⑤

「クリスマスおめでとう。神様の祝福がありますように！」

みんながこの言葉を繰り返しました。

「僕たち一人ひとりに神さまの祝福がありますように！」

みんなに少し遅れてティム坊やが言いました。

ティムは父親にぴったりくっつくようにして小さな椅子に座っていました。

ボブは、この子を愛していて、いつまでもそばに置いておきたいが、そのうち自分から離れていってしまうのではないかと心配している様子で、ティムの小さな痩せた手を握りしめていました。

(120～121 ページ)

⑥「早駆けをしたときのお父さんーティム坊やを肩に乗せて、早駆けをしたときのお父さん覚えてるわ」

「僕も覚えてるよ」ピーターが叫びました。「よくやってたよね」

「私も覚えてるわ」もう一人が言いました。みんなが覚えています。

「だけどティムはとっても軽くてねえ」彼女は熱心に針仕事をしながら話を続けました。

「お父さんはティムのことが大好きだったし、少しも大変じゃなかったのよ。あっ、お父さんが帰ってきたわ！」

彼女が急いで彼を玄関に出迎えました。(177 ページ)

※課題朗読文の引用については、翻訳者である井原慶一郎氏（鹿児島大学教授）の許可を得ております。

(1) 課題アナウンス原稿をアナウンスした後、続けて課題朗読作品を朗読して下さい。

(2) 課題アナウンス原稿には読点をつけてありません。自分の工夫で切って下さい。

(3) 課題朗読文は、学年毎に違います。

小学6年生は ⑤⑥から、一つだけ選んでください。

課題朗読文の番号を読む必要はありません。